

# 令和元年度 公開授業研究会 全体発表

【主題】

「教育活動全体で取り組む自立活動の指導」  
(中間報告)



研究主任 前林宏典



## 鳴門教育大学附属特別支援学校 (参考：学校要覧)

- 知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校



## 教育の目的（参考：学校要覧）

児童生徒一人ひとりの特性や発達段階に即し、その可能性を最大限に伸ばすとともに、主体的に社会参加するなかで、他者を大切にしながら、健康で豊かな生活を送ることができるような児童生徒の育成をめざす。



# 本校の概要について

## 教育目標

- ・ 明るい性格と豊かな人間性を育てる。
- ・ 日常生活に必要な習慣や態度を養う。
- ・ 生活を高めるため、知識・技能・態度を育てる。
- ・ 強靱なからだと意志を養う。
- ・ 集団生活への適応能力を育てる。

## めざす子ども像

- ・ 明るく、仲よくできる子ども
- ・ じょうぶで、元気な子ども
- ・ よく働く子ども
- ・ カいっぱいがんばる子ども

(参考：学校要覧)



## 鳴門教育大学附属特別支援学校（参考：学校要覧）

● 児童生徒数 59名（令和元年度）

小学部18名（1学年3名の複式学級）

中学部18名（1学年6名）

高等部23名（1学年8名）

※高2年は7名

## **1 研究の目的と方法**

## **2 今年度の取組**

## **3 本日の日程**

# 1 研究の目的と方法

## ＜学校研究の目的＞

新学習指導要領の視点を踏まえ、「自立活動における指導内容設定表」を作成することを通して、児童生徒の中心的課題を明確にし、その課題の改善・克服に向けた授業改善を行いながら、教育活動全体で取り組む自立活動の指導の方向性を検討する。

# 1 研究の目的と方法

## <学校研究の仮説>

「自立活動における指導内容設定表」の作成や共通理解を通して、児童生徒の実態や中心的課題を明確にし、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するための授業実践や授業改善を行っていくことを通して、教育活動全体で取り組む自立活動の指導の実践ができるようになるであろう。

# 1 研究の目的と方法

## 平成30年度の取組

## 自立活動に関するアンケート

平成30年7月実施

学部内の児童生徒の実態について学部内で共通理解することができている。

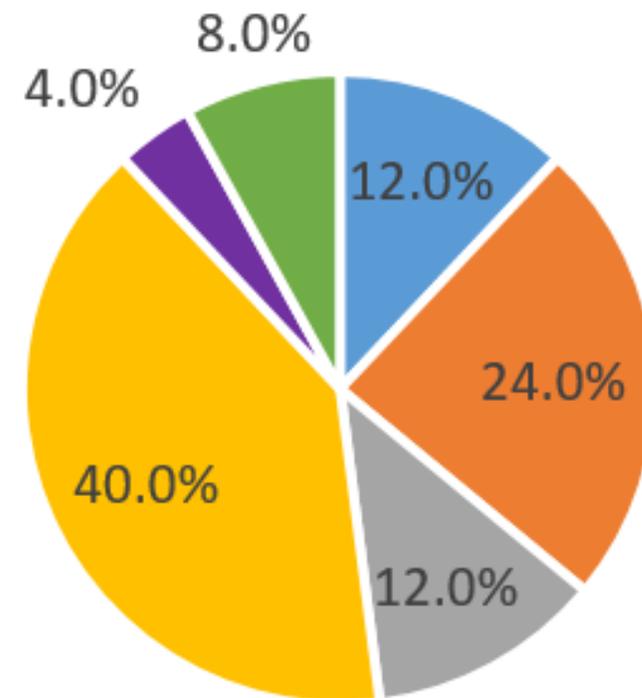
- あてはまる
- どちらかといえばあてはまる
- どちらともいえない
- どちらかといえばあてはまらない
- あてはまらない
- 無回答



できている・・・36%



できていない・・・44%



※児童生徒の実態について学部内で共通理解が十分できていないと感じる割合が高い

# 1 研究の目的と方法

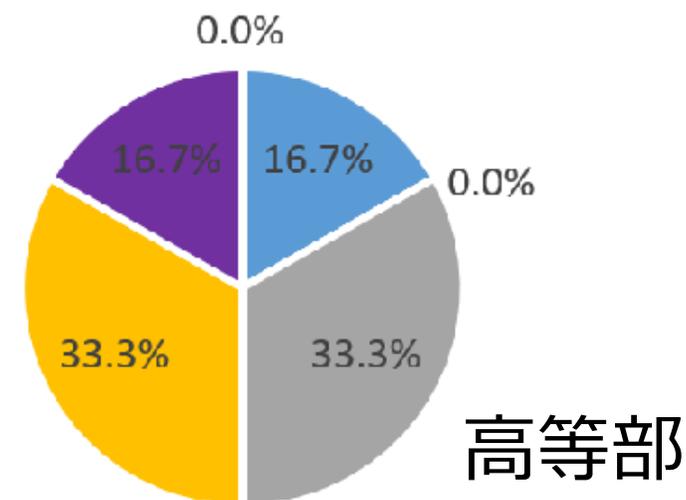
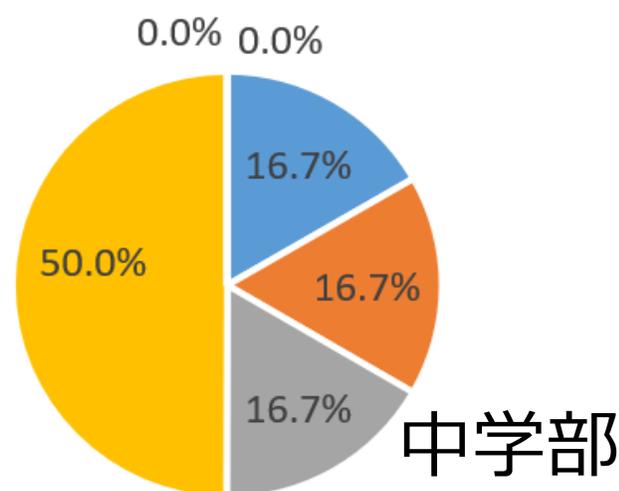
## 平成30年度の取組

## 自立活動に関するアンケート

平成30年7月実施

担任している生徒の「自立活動」の指導目標について把握することができる。

- あてはまる
- どちらかといえばあてはまる
- どちらともいえない
- どちらかといえばあてはまらない
- あてはまらない
- 無回答



※自立活動の指導目標の把握が不十分

→教科担任制である中・高等部で割合が高い

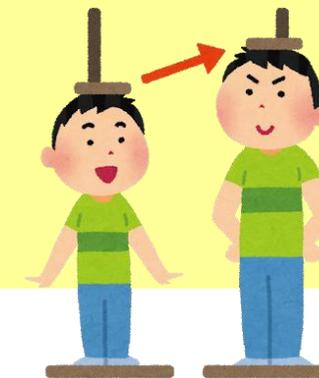
# 1 研究の目的と方法

## 平成30年度の取組

### 自立活動における指導内容設定表の活用

自立活動の捉え方についての共通理解  
(井上とも子先生より)

資料3					
所 属	小 学 校	年 級	氏 名	性 別	年 齢
プロフェッショナル	アリス・カレッジ				
○実践形態					
職業の促し	心身の安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
○指導目標(学期単位)					
○設定された項目(学期単位)					
職業の促し	心身の安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
関連する項目と目標を知り					
○具体的な指導内容、指導場面					
①具体的な指導目標	②具体的な指導目標	③具体的な指導目標			
指導の手立て	指導の手立て	指導の手立て			
指導場面	指導場面	指導場面			
指導効果・評価	指導効果・評価	指導効果・評価			
観察場面	観察場面	観察場面			



※昨年度の研究を通して  
自立活動に関する課題が明らかになった

# 1 研究の目的と方法

「教育活動全体で取り組む自立活動の指導」の実現に向けて

研究課（全体調整・まとめ）

学部（研究と実践）

- ・ 「自立活動における指導内容設定表」の様式改善（研究運営会議）
- ・ 学部の進捗状況の確認や調整
- ・ 共通理解

本学（子ども発達支援コース  
特別支援教育分野）の先生方

- ・ 研究への指導助言

「自立活動における指導内容設定表」の立案，共通理解

各教科等の授業に関連づける

何ができるようになるか  
どのように般化したか 等

## 2 今年度の取組

## 3 本日の日程

## 2 今年度の取組

### 自立活動の意義

自立活動は、一人ひとりの児童生徒の実態に対応した活動であり、よりよく生きていくことを目指した主体的な取組を促す教育活動です。



障害のある幼児児童生徒は、その障害によって、各教科等において育まれる資質・能力の育成につまづきなどが生じやすくなります。そのため、個々の実態把握によって導かれる「人間としての基本的な行動を遂行するために必要な要素」及び「障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するために必要な要素」、いわゆる心身の調和的な発達の基盤に着目して指導するものが自立活動であり、自立活動の指導が各教科等において育まれる資質・能力を支える役割を担っています。

「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）」 p21より抜粋

## 2 今年度の取組

### 調和的発達

日常生活の指導, 生活単元学習, 作業学習, 遊びの指導  
生活, 国語, 算数, 音楽, 図画工作, 体育, 道徳 等

→ 全ての児童生徒に指導

### 調和的発達の基盤

### 自立活動

(障害による学習上または生活上の困難を改善)

→ 一人ひとりに応じた指導

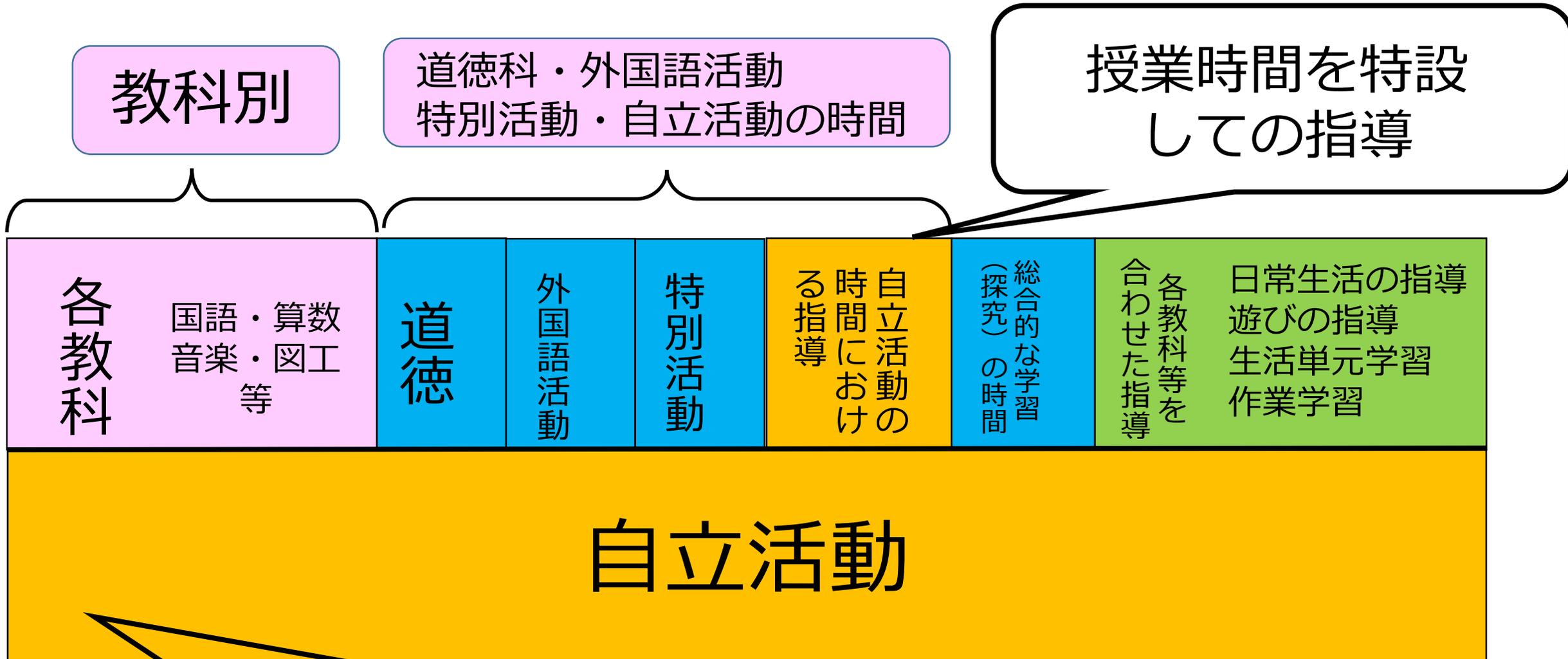
下山 (2018) は, 「調和的発達の基盤を培う」とは, 各教科や道徳科等の学習が十分にできる状態を作ることと考えてよい」と述べています。

この基盤は学習の基盤であると同時に, 生活の基盤であると考えます。土台のしっかりしていないところに立派な建物は建ちません。自立活動で発達の基盤をしっかりと作ることが大切です。



下山 (2018) 「知的障害特別支援学校における自立活動の指導の現状と改善の方向性」  
実践障害児教育2018.3月号p12より抜粋

## 2 今年度の取組



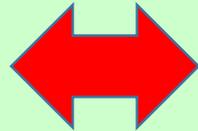
平成25年和歌山県教育センター学びの丘  
(2013) 特別支援学級担任の手引きVol3  
自立活動の指導について より改変

## 2 今年度の取組

### 自立活動の教育課程上の位置づけ

＜教育活動全体を通して適切に行う＞

自立活動の  
時間における  
指導



教育活動全体を通しての自立活動の指導

各教科等の指導

- ・教科の目標を達成するために、個々の困難に配慮
- ・個々の課題を明確にした支援が必要

各教科等を合わせた指導

- ・学習場面や生活場面で自立活動の指導を行う
- ・個々の課題を明確にして、どの場面でどのような配慮や指導をするのかについて具体的な計画が必要

## 2 今年度の取組

# 自立活動の教育課程上の位置づけ

本校小学部の時間割を例に（本校HPより抜粋）

	月			火			水			木			金		
8:30~8:40	登校														
8:40~9:10	日常生活の指導														
1校時 9:10~9:50	学部集会 (特別活動)			体育(全体)											
2校時 10:00~10:20	自立活動														
3校時 10:30~11:10	国語・算数														
4校時 11:20~12:00	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組
	音楽	音楽	音楽	生単	図画 工作	体育 (学級)	生単	生単	生単	体育 (学級)	図画 工作	生単	生単	生単	
12:00~13:00	日常生活の指導(食事)														
5校時 13:00~14:00	生活単元学習						遊びの指導			生活単元学習					
14:00~14:30	日常生活の指導(下校)														

自立活動の時間における指導

教育活動全体を通しての  
自立活動の指導

一日のカリキュラムの中で  
定着→般化のシステム

# 児童生徒の課題改善・克服を目指した取組の導入

課題改善

現状・実態



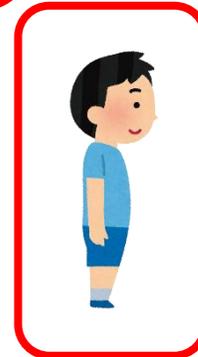
手立て



「時間における指導」でも



「各教科」でも



「日常生活の指導」でも



姿勢が崩れやすい

<要因は？>

- ・筋力が弱い
- ・座面の高さが身体に合っていない
- ・活動がわかりにくい
- ・ボディイメージがしにくい

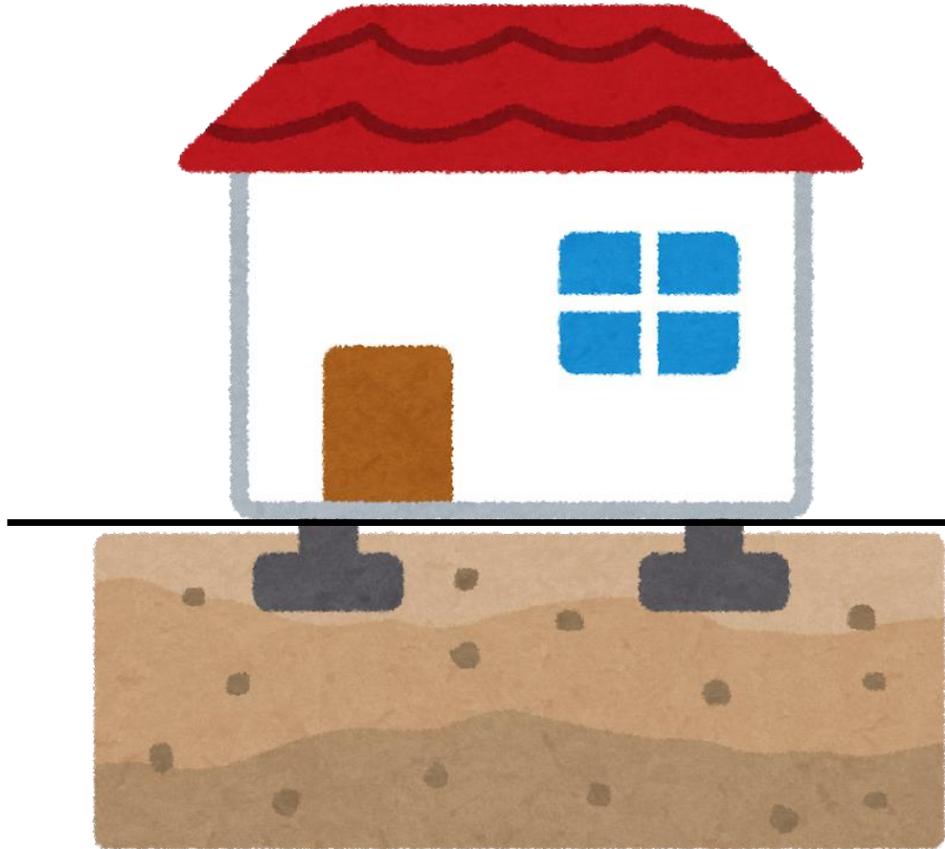
等々…

姿勢が改善された

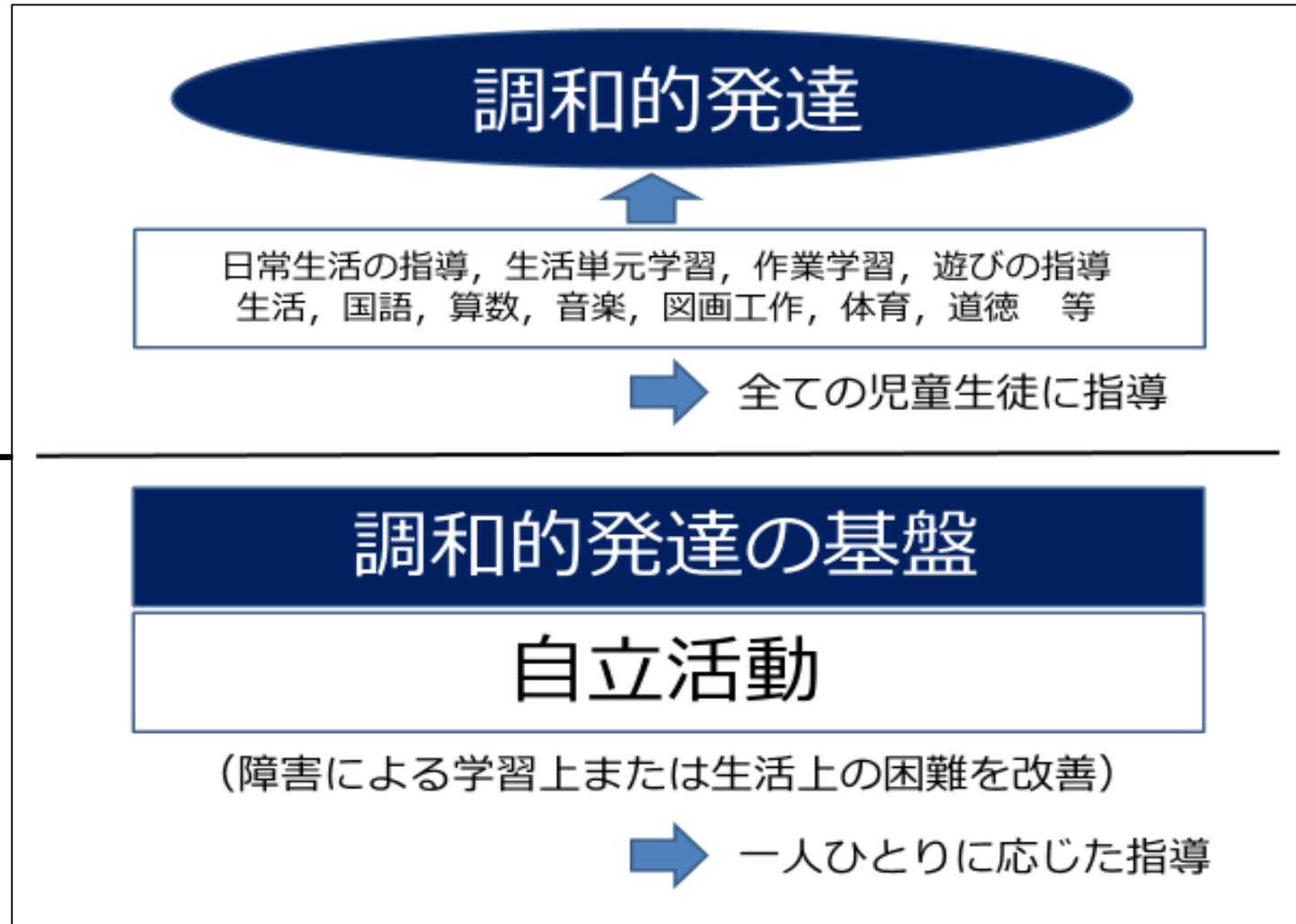
<要因は？>

- ・筋力の向上
  - ・座面の高さが身体に合う
  - ・活動内容の理解
  - ・ボディイメージの向上
- 等々…

## 2 今年度の取組



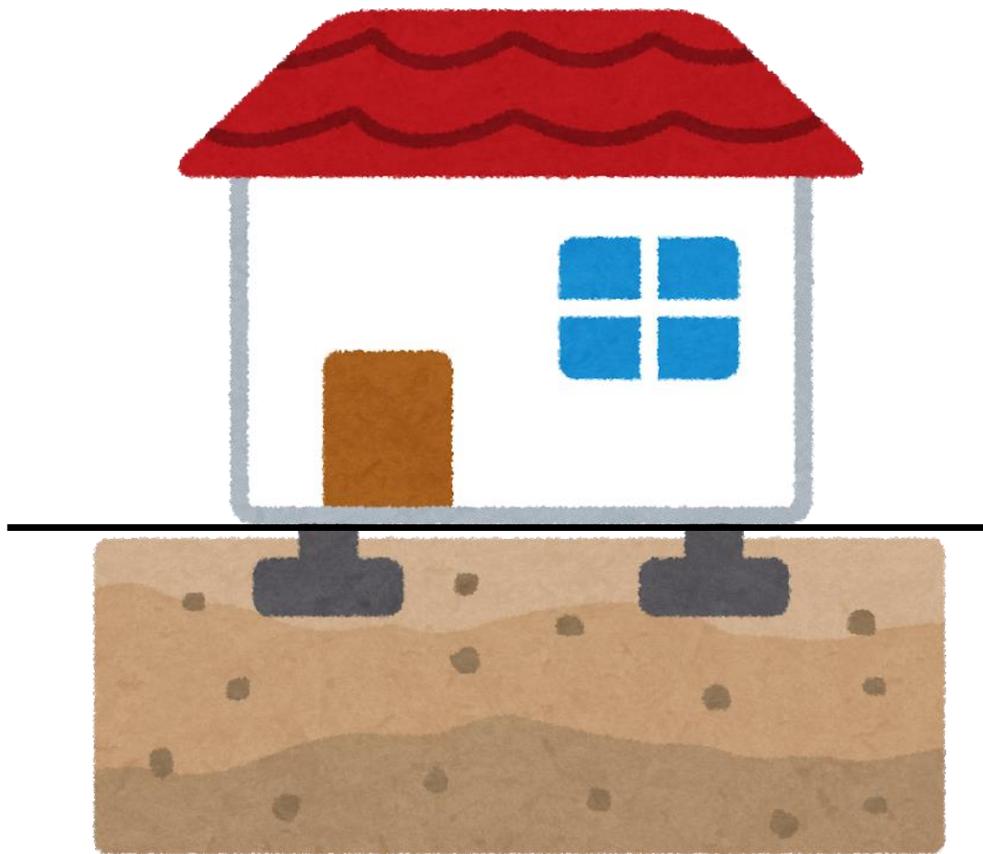
家はしっかりした  
基礎があってこそ  
強くて安心!!



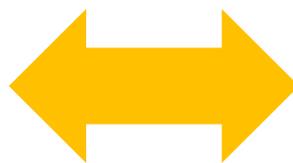
下山（2018）「知的障害特別支援学校における自立活動の指導の現状と改善の方向性」

実践障害児教育2018.3月号p12より抜粋

## 2 今年度の取組



自立活動は家の基盤  
建てる家に応じて  
設計する必要がある

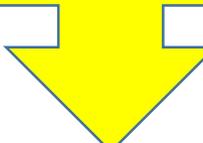


自立活動における指導内容設定表(案)					
所属	●年度	○年	氏名		
プロフィール	学 年 号				
	アセスメント結果				
	障がいの程度・状態等				
事例の概要					
① 障がいの状態、発達や経験の程度、興味・関心、学習や生活の中で見られる長所やよき、課題等について簡短に記述					
②-1 収集した情報①をもとに自立活動の区分に照準する段階					
健康の現状	心理的な不安	人間関係の形成	課題の把握	身体の特徴	コミュニケーション
②-2 収集した情報①をもとに学習上又は生活上の課題や、これまでの学習状況の観点から整理する段階					
各項目の実態に①を付けて②-1における自立活動の区分を示す					
③-1 収集した情報①をもとに学年毎の要の観点から整理する段階					
各項目の実態に①を付けて②-1における自立活動の区分を示す					
③-2 ①をもとに②-1、②-2、③-1で整理した情報から課題を抽出する段階					
④ ③で整理した課題同士がどのように関連しているかを整理し、中心的な課題を導き出す段階					
⑤ ④に基づき設定した指導目標(抱たい)を記す段階 (指導目標(年単元別))					
課題設定の際必ず考慮するが、指導目標(年単元別)として					
⑥ ⑤を達成するために必要と判断する設定する段階					
健康の現状	心理的な不安	人間関係の形成	課題の把握	身体の特徴	コミュニケーション
⑦ 課題と目標を関連づける際のポイント					
⑧ 具体的な指導内容を設定する段階 ⑨ 具体的な指導内容を設定する段階					
⑧ 具体的な指導内容	⑨ 具体的な指導内容	⑩ 具体的な指導内容			
指導の手立て	指導の手立て	指導の手立て			
指導情報	指導情報	指導情報			
指導結果・評価	指導結果・評価	指導結果・評価			
教化情報	教化情報	教化情報			
教化情報における評価	教化情報における評価	教化情報における評価			

「自立活動における指導内容設定表」  
は**児童生徒の未来を描く設計表**

## 2 今年度の取組

各クラス・学年で対象児童生徒を1名ずつ設定  
「自立活動における指導内容設定表」の立案，学部内での共通理解



児童生徒の実態や中心的課題を明確にし，児童生徒の目標達成に向けて様々な授業の中で一貫性のある授業実践や授業改善を行う



「教育活動全体で取り組む自立活動の指導の実践」につながる

## 2 今年度の取組

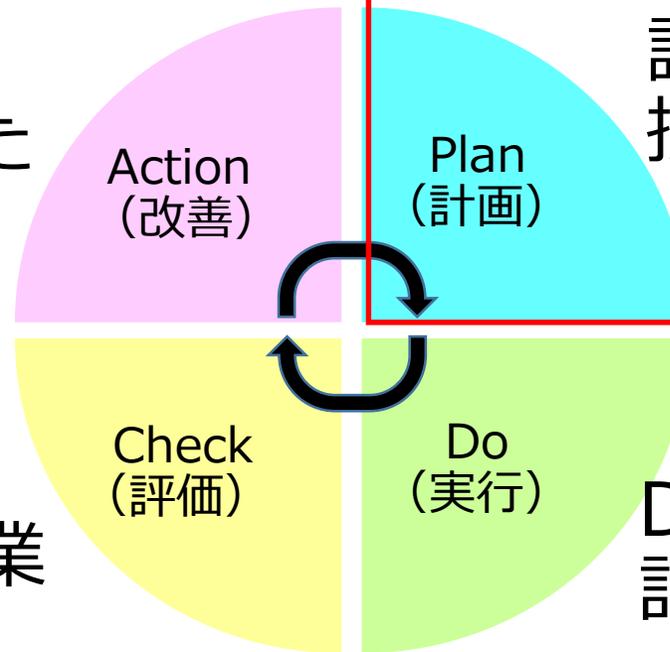
教育活動全体で取り組む自立活動の指導 授業改善のPDCAサイクル

Action (改善)

授業研究会  
学部研究会を通じた  
今後の授業改善に向けた  
方策の協議

Check (評価)

授業研究会  
学部研究会を通じた授業  
の振り返り・評価  
般化の評価



Plan (計画)

「自立活動における指導内容  
設定表」の作成・共通理解・  
授業計画

Do (実行)

計画に基づいた授業の実施  
(般化を含む)

## 2 今年度の取組



授業間での  
支援の方法  
を統一する  
ためには？



中心的課題と目標  
との関連はこれで  
良いのかな？



卒業後の生  
活を考えて  
目標設定を  
しては？

## 2 今年度の取組

教育活動全体で取り組む自立活動の指導 授業改善のPDCAサイクル

Action (改善)

授業研究会  
学部研究会を通じた  
今後の授業改善に向けた  
方策の協議

Plan (計画)

「自立活動における指導内容  
設定表」の作成・共通理解・  
授業計画

Check (評価)

授業研究会  
学部研究会を通じた授業  
の振り返り・評価  
般化の評価

Action  
(改善)

Plan  
(計画)

Check  
(評価)

Do  
(実行)

Do (実行)

計画に基づいた授業の実施  
(般化を含む)

## 2 今年度の取組

### 【小学部研究授業】・・・生活単元学習

<p>(対象児童)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 身体や指先の動きにぎこちなさ</li><li>・ 一定の姿勢を保持することが難しい</li><li>・ 生活経験の不足からか、日常生活に必要な動作に不器用さや不自然さが見られる。</li></ul>
<p>(自立活動の目標)</p>	<p>膝立ち位で歩いたり，ソフトブロック上を歩いたりするときに，バランスをとりながらゆっくりと進むことができる。</p>



## 2 今年度の取組

### 【小学部研究授業】・・・生活単元学習



クリスマス会を楽しみながら、身体の動きや日常生活動作の獲得を目指した。

## 2 今年度の取組

### 【中学部研究授業】・・・作業学習（工芸：パッチワーク）

<p>(対象生徒)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・活動や作業場面で姿勢が崩れることがあるので、姿勢を保持して作業や報告ができるようになることが大切である。</li></ul>
<p>(自立活動の目標)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・身体の動きや身体部位に注意を向け、正しい姿勢を保持してストレッチや簡単なポーズを取ることができる。</li><li>・教員に報告や援助要求を行う場面で姿勢を正して行うことができる。</li></ul>



## 2 今年度の取組

### 【中学部研究授業】・・・作業学習（工芸：パッチワーク）



良い姿勢を保ちながら，作業に取り組む。  
椅子や机の高さを合わせる→研究授業後，授業場所変更

## 2 今年度の取組

### 【高等部研究授業】・・・作業学習（委託：校内委託班）

<p>(対象生徒)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・慣れない環境下での不安感の強さや集団場面での多人数でのやりとりの困難さから、自分にとって必要な情報を適切に把握することが難しい。</li></ul>
<p>(自立活動の目標)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教員から指示を受けて、その仕事の内容をイメージすることが難しい場面で、自分に必要な情報を獲得する。</li></ul>



## 2 今年度の取組

### 【高等部研究授業】・・・作業学習（委託：校内委託班）



生徒同士で協議し，作業内容を決めて取り組む。  
教員に質問したり，友だちに自分の考えを伝えたりする



STAFF

STAFF

STAFF

ありがとうございます  
おかげさまで  
ありがとうございます



## 2 今年度の取組

教育活動全体で取り組む自立活動の指導 授業改善のPDCAサイクル

Action (改善)

授業研究会  
学部研究会を通じた  
今後の授業改善に向けた  
方策の協議

Action  
(改善)

Plan (計画)

「自立活動における指導内容  
設定表」の作成・共通理解・  
授業計画

Plan  
(計画)

Check (評価)

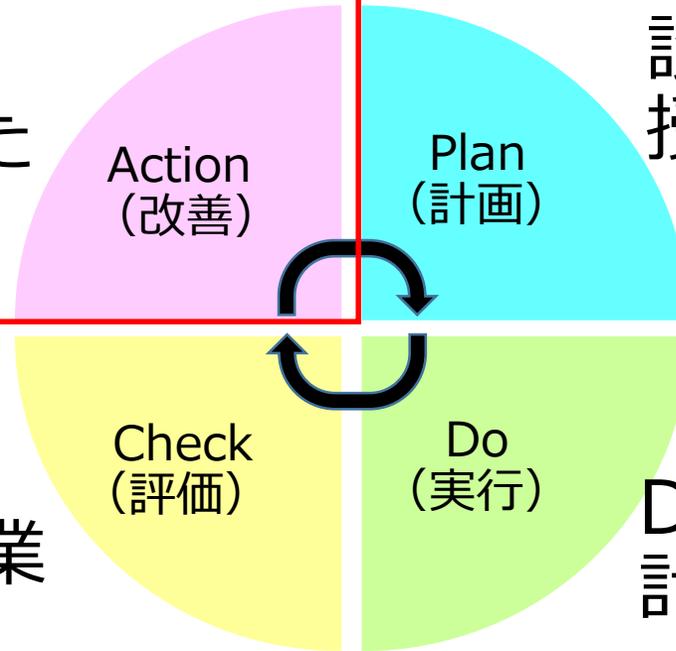
授業研究会  
学部研究会を通じた授業  
の振り返り・評価  
般化の評価

Check  
(評価)

Do  
(実行)

Do (実行)

計画に基づいた授業の実施  
(般化を含む)



## 2 今年度の取組



フィードフォワード  
(feed forward)

「未来に向けた解決策」を考えよう

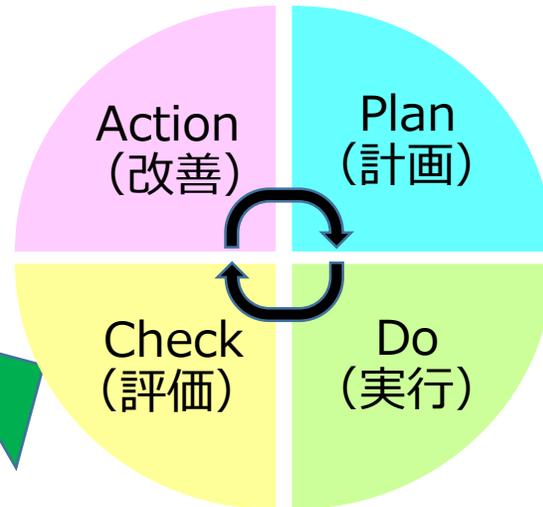
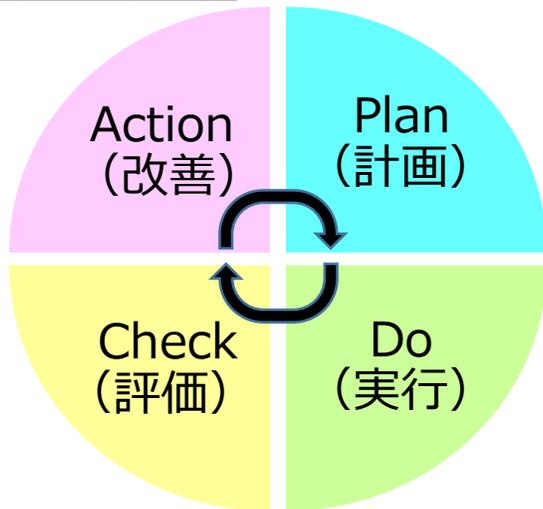
「教材の工夫」「教員の支援方法」  
「教室環境」「目標設定の妥当性」  
「児童生徒の強みは何か」  
「児童生徒・教員ともに楽しんで授業ができる工夫」等



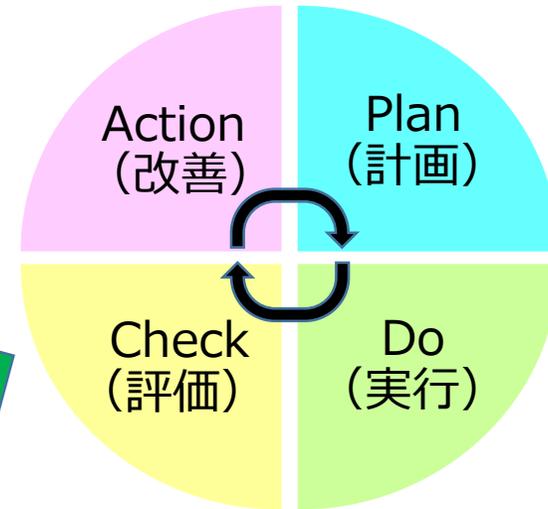
## 2 今年度の取組

「自立活動における指導内容設定表」の書式もPDCAサイクルによって改善されてきました。

自立活動における指導内容設定表					
学年	学期	単元	単元	単元	単元
1年	1学期	1	2	3	4
2年	1学期	1	2	3	4
3年	1学期	1	2	3	4
4年	1学期	1	2	3	4
5年	1学期	1	2	3	4
6年	1学期	1	2	3	4



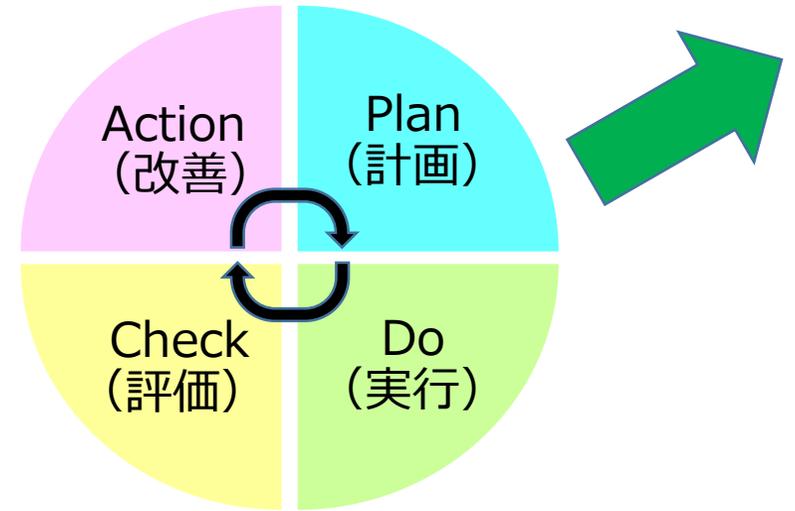
自立活動における指導内容設定表					
学年	学期	単元	単元	単元	単元
1年	1学期	1	2	3	4
2年	1学期	1	2	3	4
3年	1学期	1	2	3	4
4年	1学期	1	2	3	4
5年	1学期	1	2	3	4
6年	1学期	1	2	3	4



自立活動における指導内容設定表					
学年	学期	単元	単元	単元	単元
1年	1学期	1	2	3	4
2年	1学期	1	2	3	4
3年	1学期	1	2	3	4
4年	1学期	1	2	3	4
5年	1学期	1	2	3	4
6年	1学期	1	2	3	4

## 2 今年度の取組

授業研究会を通して、  
中心的課題の解決を支える  
個々の「得意なこと」「できること」  
を生かした  
ポジティブな支援を行っていこう  
という提案が多く聞かれました



A detailed form for improvement proposals, containing various fields for information such as name, department, and the details of the proposal.

## 2 今年度の取組（成果）

令和元年12月

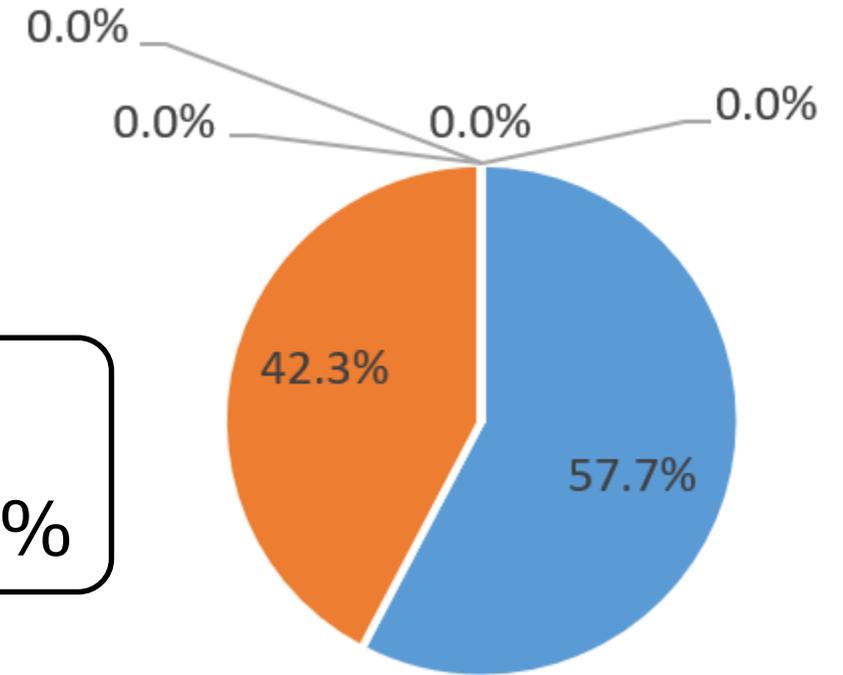
アンケートの実施

回答者26名

対象児童生徒の中心的課題を改善・克服する取組について、学部内で共通理解ができている。

- あてはまる
- どちらかといえばあてはまる
- どちらともいえない
- どちらかといえばあてはまらない
- あてはまらない
- 無回答

■ ■  
できている・・・100%



※学部内で中心的課題についての共通理解ができた

## 2 今年度の取組（成果）

令和元年12月

アンケートの実施

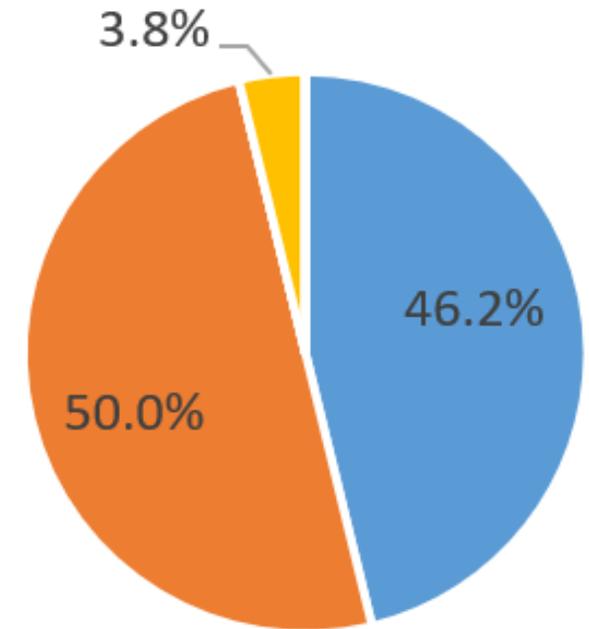
回答者26名

教育活動全体の中で、児童生徒の中心的課題の改善・克服を目指した授業を行おうと意識している。

- あてはまる
- どちらかといえばあてはまる
- どちらともいえない
- どちらかといえばあてはまらない
- あてはまらない
- 無回答

■ ■ できている…96.2%

■ できていない…3.8%



※研究の目的を理解して、授業に取り組むことを意識できている

## 2 今年度の取組（課題）

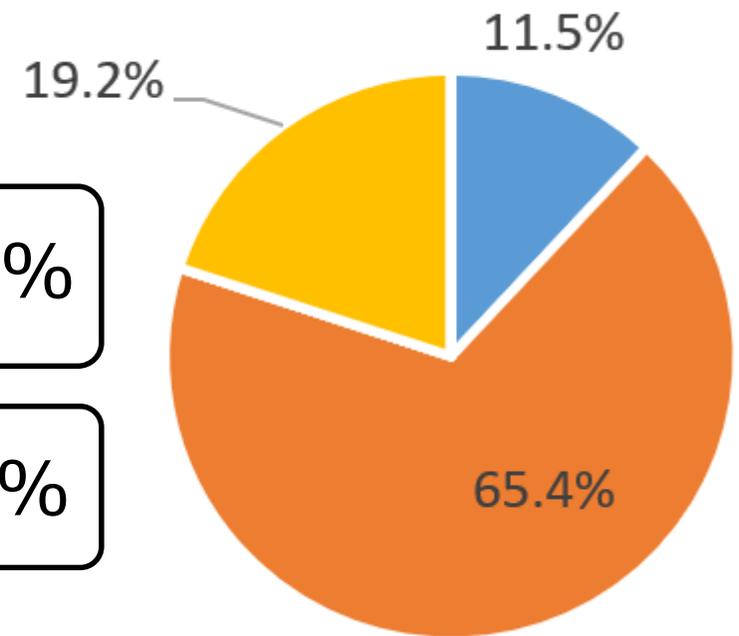
令和元年12月 アンケートの実施 回答者26名

「自立活動における指導内容設定表」は、  
改善する必要がある。

- あてはまる
- どちらかといえばあてはまる
- どちらともいえない
- どちらかといえばあてはまらない
- あてはまらない
- 無回答

■ ■ 必要がある・・・76.9%

■ 必要がない・・・19.2%



※改善しなければならないとの回答が8割を占めている

## 2 今年度の取組（課題）

### 改善の理由

- ・作成に要する時間，労力がかかる。
- ・記入する量や項目が細かすぎて，6名分作成するには大変である。
- ・設定表を記入する時期と学部協議をするタイムスケジュール等の改善が必要
- ・できるだけ簡易な形にする。（事務量の適正化） 等

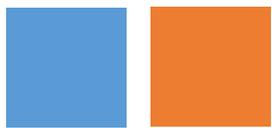


児童生徒全員に対して取り組めるような様式に改善する

## 2 今年度の取組（課題）

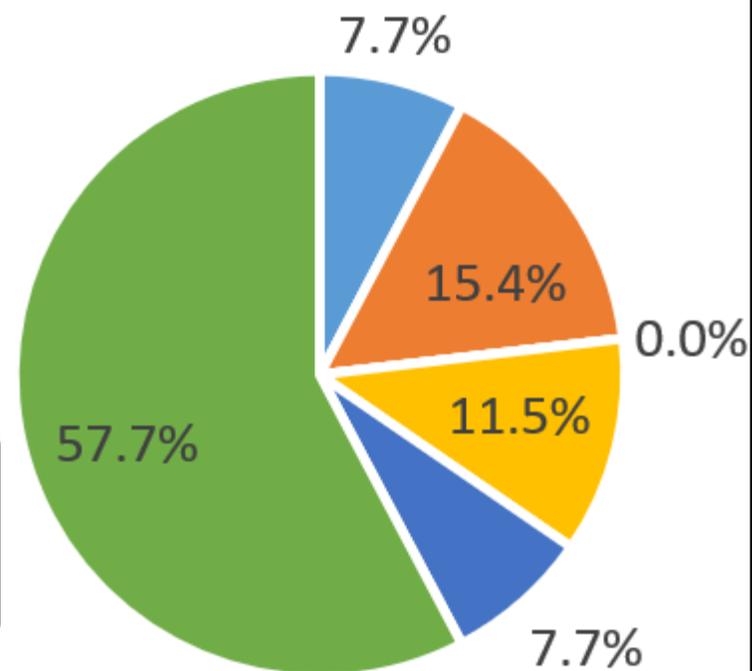
令和元年12月 アンケートの実施 回答者26名

（前任校が小・中学校の先生方に対して）  
本校の「自立活動における指導内容設定表」の  
ような児童生徒の中心的課題を導き出すための  
ツールは小・中学校で活用できそうですか？

 活用できそう・・・23.1%

 活用は難しそう・・・19.2%

 無回答・・・57.7% （前任校が県立学校の教員）



※地域の学校で活用するためにはまだまだ課題がある

## 2 今年度の取組（課題）

地域の学校で活用できる形にするには・・・

- ・ 中心的課題を見極めて、実際の指導を考えていくという点で、その思考の流れはととても勉強になっている。

- ・ 書類作成するために時間がかかり、負担が大きいため活用しにくい。

- ・ 記入ポイントや記入方法、使い方を示されたハンドブックのようなものがあれば、誰もが使いやすいものになる。



地域の学校でも活用できるように（研究の成果を還元）